

お互いさまのまちづくり

お互いさまのまちづくりとは

日本では急激に少子・高齢化が進行しています。そのため、全国の自治体が、「自助」「互助」を基本とした「地域の支え合い」(**地域包括ケアシステム**)を構築するように求められています。その地域の支え合いを構築する活動がお互いさまのまちづくりです。

お互いさまのまちづくりでは、誰もが住み慣れた家で安心して暮らし続けられるように生活支援コーディネーター(SC)の配置や、協議体の設置によってまちづくりを推進しています。

生活支援コーディネーター(SC)とは



地域支え合い推進員とも呼ばれ、地域の支え合い活動を推進します。中学校区ごとに第2層SCを配置しています。

SCの主な役割

ネットワーク構築

資源開発

マッチング

協議体とは



SCと一緒に地域のことを考えたい、話し合いたいします。中学校区ごとに第2層協議体を設置しています。

協議体の主な役割

情報交換の場

SCの補完

働きかけの場

詳細は裏面へ



SCはどこにいるの？



当市では、第1層SCを沼田市社会福祉協議会が、
第2層SCは各在宅介護支援センターが担当しています。

第2層SC

沼田・池田中学校区担当

沼田市在宅介護支援センター
ききょう

23-8816

南・東中学校区担当

沼田市在宅介護支援センター
ゆうゆう・うちだ

22-8400

西・薄根中学校区担当

沼田市在宅介護支援センター
まごころ

22-8811

白沢・利根・多那中学校区担当

沼田市在宅介護支援センター
社会福祉協議会

53-2722
56-4606

第1層SC

市内全域担当

沼田市
社会福祉協議会

25-3267

この取り組みは、地域住民の皆様のご理解、ご協力がなければ達成できるものではありません。あなたのところに生活支援コーディネーターが伺った際には、ぜひ地域のことを教えてください。

作成 沼田市（介護高齢課長寿支援係） 23-2111

（令和6年4月）